

静岡

リニューアルオープンした 野田山健康緑地公園「富士川キャンプ場」

静岡県富士市にある野田山健康緑地公園「富士川キャンプ場」は、東名高速から十数分、富士山、駿河湾、愛鷹山、伊豆半島、富士市街などを望める丘にあるロケーションに恵まれたキャンプ場です。

野田山健康緑地公園は昭和61年に富士川町保健休養林造成事業で造成され、憩いの場として親しまれてきました。一方で、過去にキャンプ施設からの飛び火により森林火災が起きたことがあり、火の管理が課題となっていました。さらに、近年、漫画「ゆるキャン△」のモデル地となったことで利用者が急増し、それまでの管理人不在を基本とする管理方法は限界となっていました。そこで、富士市は、安全性と利便性の向上を図り、令和3年度に民間事業者が管理運営を行う体制としました。

令和3年8月1日に公園内のキャンプ施設の名称を新たに「富士川キャンプ場」として、リニューアルオープンしました。管理人が滞在する管理棟が設置され、場内の売店で食料品や薪、キャンプ用品などが購入できるようになりました。キャンプ用地の再整備が行われ、テントサイト31区画(6m×6m)、オートキャンプサイト3区画(7.5m×7.5m)、駐車場(車32台分)が設定されました。テントサイトの内、2区画は展望が非常に良い高台にあり、人気を集めています。他にも、キャンプサイトでの焚き火の解禁、Webでの利用予約システムの導入、場内でのゴミ回収サービスの開始などが行われました。年間の利用者数は約3,000人となっており、利用者は富士市内から約25%、静岡県内の市外から約25%、静岡県外から約50%来ています。

野田山健康緑地公園は指定管理制度を導入しており、令和3年7月1日から令和9年3月31日までは株式会社白糸植物園により「富士川キャンプ場」の管理運営が行われています。同社は林業・森林整備を主に行っている会社で、その特徴を活かし、公園造成から30年以上が経過し、景観を妨げるようになった周辺の森林を整備しています。令和4年度の森林整備では富士山の眺望が

改善し、三保の松原が見える場所ができました。また、売店で販売する薪は同社の富士地域の森林整備・間伐の副産物として発生した木を原料としています。この木は薪にしなければ森林に残置され、自然に分解されるものであるため、それで作った薪は地球環境にやさしく、地域の森林整備にも貢献するとされています。

「富士川キャンプ場」では、市民や国内外の観光客を呼び寄せられるキャンプ場になることを目指して、さらなる景観の向上、自然体験の場の充実、接続道路の整備などが計画されています。地域の森林と一体となり進歩していく「富士川キャンプ場」で家族、友人、同僚と共にキャンプを楽しんでみてはいかがでしょうか。



富士川キャンプ場と富士山・富士川



展望サイトから望む愛鷹山、富士市街、駿河湾、伊豆半島

所在地 〒421-3306 静岡県富士市中之郷4482番地の141

URL <https://fujikawa-camp.jp>